

## 新生公立鳥取環境大学経営・教育研究審議会準備部会の概要について

平成23年10月28日に、新生公立鳥取環境大学経営・教育研究審議会準備部会を開催しました。

### 概要

#### 1 鳥取環境大学の現在の状況について

- ・現在の大学の教育改革、魅力づくりのための方策、経営見通し、今後の予定等について事務局が説明。

#### 2 中期目標について

- ・中期目標策定の考え方、骨子案について事務局が説明。

### 〔出席者からの意見・質問等〕

#### 【田中委員】

- 中期目標として数値化にふさわしい項目もあれば、難しいものもある。あまり現実離れのしない、中身のあるものとしてほしい。
- TORC（地域シンクタンク）は社会貢献に関する項目に掲げてあるが、公開講座などだけでは、学生への講義（教育）にもTORCの人材を活用すべきではないか。  
→〔事務局〕講義を持つことを考えているが、詳細についてはこれから検討するところ。

#### 【清水委員】

- 学部改編に伴う初期投資を見込んでいるのか。  
→〔事務局〕
  - ・教員養成課程のための実験施設の改修、備品の購入、図書の購入等。
  - ・多文化交流空間（「英語村」（仮称））がうまく回り出したら、施設整備も考えていきたい。

#### 【若原委員】

- 評価制度や任期制度の導入が盛り込まれているが、こういった評価制度や任期制度は、今回のような大きな変化があるときに思い切って導入するのがいい。  
→〔事務局〕評価制度は今年度試行しているところ。この状況を踏まえ、来年度導入する。現在、任期制度については無い状況。

#### 【渡邊委員】

- 大学は認証評価機関による第三者評価を受けることになっているが、それに合う形の中期目標となっているのか。  
→〔事務局〕今の案ではまだ整合性がとれていない状況であり、すり合わせていく。

#### 【副知事】

- 西部サテライトキャンパスの利用形態について、学生の遠隔地授業などの教育利用は需要を見て判断すれば良いと思う。社会人講座などは、すぐにでも充実できるのではないかと。

#### 3 学長選考会の設置について

- ・学長の選考方法や適格要件、任期等について事務局が説明。  
→ 特に意見なし
- ・選考メンバーについて次の6名が選任された。  
経営審議会・・・若原委員、清水委員、吉田委員  
教育研究審議会・・・上山委員、横濱委員、中川委員